

# 自己評価結果等の公表

公表：平成31年2月28日

## 1. 児童発達支援「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果」

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室 保護者等数（児童数）12人 回収数12人 割合100%

### 環境・体制整備

<p>①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「スペース全体を使い、子どもひとりひとりがのびのびと活動している。」「うちが狭いので、ここで走りまわる姿を見ていると嬉しそうです。」「下半身不随、背骨の奇形あり。軟らかい布団を敷いて対処してくれている。」</p>
<p>② 職員の配置数や専門性は適切であるか はい10 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1 意見 「近くの子どもだけでなく全体を見てくれる職員の皆さんの協調性を感じ、安心して子どもを任せられる。」「吸引があるが、まめに気づき吸引してくれている。」</p>
<p>③生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか はい10 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1 意見 「遊び道具は常に種類別に決まった場所に整理されておりわかりやすい。子どもの身体や精神状態に合わせた居心地の良い空間を家族と話し合いながら、その都度工夫し作ってくれる。」</p>
<p>④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか はい11 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0 意見 「遊びや食事など活動が終わる毎にすばやく片付けや掃除が行われるので、常に清潔かつ順応している。」「オムツ必須だが、トイレに行きおむつ交換してくれている。」</p>

\*職員の配置は、基本は20人定員で4人です。

ひまわり教室では、保育に関わる職員は10人です。毎日7~8人を配置しており、日よってはもう1~2人を追加に配置することもあります。全員、児童指導員です。他に保育士、介護福祉士資格を有しています。

### 適切な支援の提供

<p>⑤子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「児童発達支援担当者がしっかりとヒヤリングの時間を設けてくれ、話を聞いてもらえる。」</p>
<p>⑥児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか はい9 どちらともいえない0 いいえ0 わからない3 意見 「子どもの現在の状態を把握し、家族の意向を聞いたうえで、その時に合った長期的・短期的な支援目標が設定されている。そのため、子どもと共に寄り添いながら支援をすることができる。」</p>
<p>⑦児童発達支援計画に沿った支援が行われているか はい11 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 意見 「支援計画を基に子どもの成長に合わせ、臨機応変に対応してくださり助かっている。」</p>
<p>⑧活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか はい10 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 不明1 意見 「様々な設定遊びの他にも季節に合わせた活動等取り入れ工夫されている。」「家ではできないことや声かけなどをしてくれていて嬉しい。」</p>

<p>⑨保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい1 1    どちらともいえない1    いいえ0    わからない0 意見 「障害のある子もない子も、子ども同士の関わり合いや交流等はとても良い刺激になります。もっと増やしてほしい。」「幼稚園の交流、お世話になりありがとうございました。」「近くの幼稚園の交流がある。交流人数が1人なので順番がこない。」「近くの幼稚園の交流がある。」「近所の幼稚園との交流があり、良いと思う。」</p>
--

**保護者への説明等**

<p>⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか はい1 1    どちらともいえない1    いいえ0    わからない0 意見 なし</p>
<p>⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか はい1 0    どちらともいえない1    いいえ0    わからない1 意見 なし</p>
<p>⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか はい1 1    どちらともいえない0    いいえ1（保護者の都合により）    わからない0 意見 「言葉や説明だけでなく実際に活動に参加させていただくことで、子どもの様子を客観的にも見ることができている。」</p>
<p>⑬日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか はい1 2    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0 意見 「連絡帳だけでなく、日頃から職員さんが話しやすい雰囲気を作ってくれている。」「理解し合える人が（子どもについて）いてくれてありがたい。」</p>
<p>⑭定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか はい1 2    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0 意見 「トイレトレーニングの時もやりやすい方法など教えてもらえて助かりました。」「家族で気づけないことを教えてくれて参考になる。」</p>
<p>⑮父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか はい1 2    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0 意見 「参加できていないが、たくさん行事があると思う。」</p>
<p>⑯子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか はい1 2    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0 意見 「不安に思うことなど、話しをきいてくれてその時その時対応してくれる。」</p>
<p>⑰子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか はい1 2    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0 意見 「いつもおたよりなど楽しみにしております。」「面談や送り迎えの時などたくさん話をしてくれる。」</p>
<p>⑱定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか はい1 1    どちらともいえない1    いいえ0    わからない0 意見 「写真や子どもたちの様子が詳しく書かれていてわかりやすい。」</p>
<p>⑲個人情報の取扱いに十分注意されているか はい1 0    どちらともいえない1    いいえ0    わからない1 意見 「子や保護者の守秘の周知が甘く感じる。守秘義務をもう少しかたく守って頂きたい。」</p>

\*指摘を受けたことに関しては迅速に対応をしているつもりです。守秘義務についてこれからも十分に注意していきます。

## 非常時等の対応

⑩緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか はい11 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0 意見 ・なし
⑪非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか はい10 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1 意見 「避難訓練に以前参加させていただきました。」

<対応中です>

- \*緊急時対応マニュアルは、緊急対応の表を作成し、子ども一人ひとり医療ノートと共に、毎日持ってくる袋に入れて置くようにしていますが、まだ作成されていない人もいますので、早急に作成します。
- \*防災マニュアル、感染症対応マニュアルは、策定してあったものを全員分印刷して配っているところです。
- \*避難訓練も、子どもたちが驚かないように、混乱のないように、やっています。
- \*非常用電源はまだ設置できていませんが、車用の電源は大きな容量のものを用意してあります。

## 満足度

⑫子どもは通所を楽しみにしているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「日々の活動を通して職員さんが安心できる環境を作ってくれ、楽しんで通っている。」「休みの日も「行く!」と言って楽しみにしているくらいです。」
⑬事業所の支援に満足しているか はい12 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 「子ども本人はもちろん、家族側の気持ちにも寄り添ってくれる。」「とても満足しています。」

<回答の分析結果は次の通り>

- ・12名から回答をもらう。質問は5つの項目に分かれていて、全部で23個の問い。

表1 「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果」 ( )内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	回答なし	合計
環境、体制整備 (①～④)	43 (89.6)	3 (6.2)	0 (0)	2 (4.2)	0 (0)	48 (100)
適切な支援の提供 (⑤～⑨)	53 (88.3)	1 (1.7)	0 (0)	5 (8.3)	1 (1.7)	60 (100)
保護者への説明等 (⑩～⑱)	113 (94.2)	4 (3.3)	1 (0.8)	2 (1.7)	0 (0)	120 (100)
非常時等の対応 (⑳～㉑)	21 (87.5)	2 (8.3)	0 (0)	1 (4.2)	0 (0)	24 (100)
満足度 (㉒～㉓)	24 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (100)
合計	254 (92.0)	10 (3.6)	1 (0.4)	10 (3.6)	1 (0.4)	276 (100)

- ・23個中、9個の質問に対して、全員から「はい」の回答があった。

### \*各項目について細かくみる\*

<環境、体制整備>

- ・「職員の配置数や専門性は適切であるか」の問いに、「どちらともいえない」「わからない」が1つずつあった。
- ・「生活空間が子どもにわかりやすいものとなっているか、バリアフリー化されているか」という主旨の問いに対しても「どちらともいえない」「わからない」が1つずつあった。

<適切な支援の提供>

- ・「支援計画にガイドラインで示されている子どもにとって必要な支援が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか」の問いに対して、「わからない」の回答が3つあった。

・「児童発達支援計画に沿った支援が行われているか」「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」の問いに対して、それぞれ「わからない」の回答が1つあった。

・「保育園などとの交流の機会があるか」という主旨の問いに対して「どちらともいえない」の回答が1つあった。  
 <保護者への説明等>

・「運営規程等について丁寧な説明がなされたか」「定期的に会報などで活動概要や行事予定などが発信されているか」といった趣旨の問いにはそれぞれ「どちらともいえない」の回答が1つあった。

・「支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか」といった趣旨の問いと「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」の問いには、それぞれ「どちらともいえない」と「わからない」の回答が1つずつあった。

・「保護者に対して家族支援プログラムが行われているか」の問いに対して「いいえ」の回答が1つあったが、これは保護者側の事情によるものである。事情があって、保護者が職員と会う機会がない。

<非常時等の対応>

・「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか」という主旨の問いに対して、「どちらともいえない」の回答が1つあった。

・「非常災害に備えて避難・救助訓練が実施されているか」という主旨の問いに対しては、「どちらともいえない」と「わからない」の回答が1つずつあった。

## 2. 放課後等デイサービス「保護者等からの放課後デイサービス事業所評価の集計結果」

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室 保護者等数(児童数) 21人 回収数21人 割合100%

### 環境・体制整備

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

はい21 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 「広々。廊下も十分に走れます。」「おもちゃ遊びする子や動き回る子も同じお部屋。」「ご飯時、遊びの時、部屋も別になっていて良い。」「職員さんの目が行き届く空間です。」「広い部屋が2部屋あり、のびのび活動ができていると思う」「場所が広いので安心です。」

② 職員の配置数や専門性は適切であるか

はい21 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 「行き届いています。」「十分に対応できていると思います。」「その子その子に合わせてマンツーマンや配慮してくれている。」「手厚くみていただいています。」「医療的ケアが必要な時は講習を受けていてよい。」「職員研修等子どもの育ちを考える機会を多くとってありよい。」「1対1で有難いです。」

③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などのバリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい20 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1

意見 「段差少なく、安心です。」「車いす、バギーなども問題なく入れる。」「意識して見ていなかったのでもわかりません。」「廊下には手すりあるし、トイレもバリアフリーになっている。」「危険箇所はないと思います。」「床暖や通路の幅など、寝たきりの子にも優しくなっている。」「車椅子やバギー、歩行器などもたくさんあり、その子に合ったものを用意してくれ、助かります。」「充分です。」

### 適切な支援の提供

④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか

はい21 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 「食事の時など根気よく支援して頂いています。」「その子にあった接し方で常に成長をうながす活動をしています。」「計画書をいつも作成してくれている。」「見たことのないような気がする。」「保

<p>護者のニーズや悩みに寄り添ってくれる。」「お陰様で、子どもが少し落ち着きました。」「細かく作成してくれている。」</p>
<p>⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか  <b>はい2 1    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</b>  <b>意見</b> 「毎回同じ活動にならないように工夫されている。」「いろいろな活動があり、制作も嬉しいです。」「楽しめるように工夫されています。」「毎回楽しい内容で、たのしめている。」「公園やお店等様々です。」</p>
<p>⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  <b>はい1 3    どちらともいえない4    いいえ1    わからない3</b>  <b>意見</b> 「主に土曜日の利用なので、どんな感じかわかりません。」「もう少しあるといいなと思います。」「たまにあると思いますが、放課後なので少ないイメージです。」「夏休みに児童館などつれていってくれます。でもうちの子は毎日地域の学校に通っているので、支援してもらわなくても大丈夫です。どの子も一緒にいられればいなくなる支援ですね。」「もう中学生なので、児童館へ行かなくてもいいと思っている。」「交流機会はわかりません。」「利用する回数がすくないので、そういう活動に機会に出会えるのは少ないけど、ある。」</p>

**保護者への説明等**

<p>⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか  <b>はい2 1    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</b>  <b>意見</b> 「契約時になされていた。」「分かりやすくきちんと説明してくれる。」「ていねいな説明があるので、安心してあずけることができている。」「長期休暇以外、月に2回程度の利用のため（どちらともいえないに○）。</p>
<p>⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか  <b>はい2 1    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</b>  <b>意見</b> 「れんらくノートや口頭で伝わってきます。」「情報交換ができている。」「連絡帳などで様子を伝え合っていて良い。」「日々送迎時などに共有しています。」「日頃からよくコミュニケーションがとれており、何かあればすぐに相談できる雰囲気がある。」「よく相談にのって頂いています。」「一緒に考えてくれ、丁寧にアドバイスをしてくれます。」</p>
<p>⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  <b>はい2 1    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</b>  <b>意見</b> 「月1回相談の日がある。相談があればすぐに聞いてくれる。」「面談だけではなく、困った時は電話も対応してくれる。」「相談にのってもらっています。」「必要に応じて相談にのって頂き、ありがたい。悩みごとでなくても、状況を伝えるだけでも安心を得ています。」「定期的な面談もあり、相談できることで安心感がある。」「利用している子だけでなくその兄弟のこと保護者の親のことも考えて支援してくれています。」「勉強会有難うございます。」「必要な時相談にのってもらってとてもありがたい。」「一緒に考えてくれ、丁寧にアドバイスをしてくれます。」「気にかけて頂いています。」</p>
<p>⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか  <b>はい1 9    どちらともいえない2    いいえ0    わからない0</b>  <b>意見</b> 「行事や活動の中で顔を合わせる機会があります。」「学習会の時間を作ってくれている。合宿もある。」「会の運営がしっかりしていて、母同士のつながりもきちんとある。」「定期的にあります。」「父母の会での親同士の交流はすごく助かっている。」「毎月、学習会があったり、母親の会の活動があったり、心の支えになっている。」「勉強会有難うございます。」「学習会などでいろいろな話が聞けていいです。」</p>
<p>⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか  <b>はい1 6    どちらともいえない2    いいえ0    わからない3</b></p>

<p><b>意見</b> 「苦情…、あるのでしょうか?」「苦情を言ったことがないのでわかりません。」「よくわかりません。」「苦情についてきたことがないため対応はわかりません。」「苦情ではないが、小さな声でも、いともすぐに対応して頂いている。」「対応はとてもいいと思う。」</p>
<p>⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか  <b>はい2 1 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</b>  <b>意見</b> 「れんらくノート、口頭にて。」「何かあった時はすぐに連絡をくれます。」「日頃の関わり等、参考にさせてもらっています。」「連絡ノートや電話などで伝達し合っている。」</p>
<p>⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか  <b>はい2 1 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</b>  <b>意見</b> 「会報で発信されています。」「会報や連絡帳のやりとり、チラシなどでお知らせしてくれます。」「会報も多く、安心できます。」「お知らせで発信してくれている。」「定期的に発信されています。」「会報で活動の様子が見られてうれしい。」「時々届く会報を楽しみにしています。励みにもなっています。」「会報は作るのが大変だと思うが、とても興味深い内容です。」「会報での支援も参考にしています。」「教室だよりで取り組みや様子などがよくわかります。」</p>
<p>⑭個人情報の取扱いに十分注意されているか  <b>はい1 9 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1</b>  <b>意見</b> 「配慮してくれています。」「会報なので会員のみでの配布ですが、名前は載っています。」「十分かどうかは分かりませんが、注意されていると思う。」</p>

#### 非常時等の対応

<p>⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。  <b>はい1 5 どちらともいえない2 いいえ0 わからない4</b>  <b>意見</b> 「マニュアル? わかりません。」「感染症がはやった時は対応していた。」「AED講習などがある。」「感染拡大しないようしっかりしている。」「特に感染症マニュアルはきいたことがないです。今の時期は必要かと思えます。」「私が知らないだけだと思います。」</p>
<p>⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか  <b>はい1 4 どちらともいえない1 いいえ0 わからない6</b>  <b>意見</b> 「月1, 2回の利用なので、そこまではしりません。」「医療器を持っている子が多いので、非常用電源を設置して欲しい。」</p>

<対応中です>

- \*緊急時対応マニュアルは、子ども一人ひとり医療ノートと共に、緊急対応の表を作成し、毎日持ってくる袋に入れて置くようにしていますが、まだ作成されていない人もいますので、早急に作成します。
- \*防災マニュアル、感染症対応マニュアルは、策定してあったものを全員分印刷して配っているところです。
- \*避難訓練も、子どもたちが驚かないように、混乱のないように、やっていきます。
- \*非常用電源はまだ設置できていませんが、車用の電源は大きな容量のものを用意してあります。

#### 満足度

<p>⑰子どもは通所を楽しみにしているか  <b>はい2 0 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0</b>  <b>意見</b> 「笑顔で通所しています。」「今日はひまわり教室」と伝えるとガッツポーズをします。」「弟もいつも一緒に行きたがるほどです。」「とても楽しそうに行っているように感じる。」「楽しみにしています。」「通所するのを毎回とても楽しみにしている。」「心配なことは全くないが、今後小学校に入学した後、都合に応じて必要な回数入れるのか少し気になる。しかし、いつもあずかる時間等、柔軟に対応して頂き本当にありがたく感謝している。」「毎回たのしみにしています。」「家に帰りたくないと言う。」「とても楽しみにしています。愛情を有難うございます。」「ひまわりに行くよと言うととても嬉しそうにしている。」「送迎の時に嬉しそうにしています。」</p>
<p>⑱事業所の支援に満足しているか</p>

はい21 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 「とてもお世話になり、感謝です。」「安心して預けています。」「イベントも多く、ありがたい。」「子どもだけではなく、親の支援もしてくれてありがたい。」「満足しています。」「子どもが楽しそうなのでとても満足です。」「いつも親や子の思いによりそって支援してもらっています。」「大変満足しています。」「娘に合った活動をしてくれてうれしい。」「こどもをとても大切にしてくれ、親もいろいろと助けてもらって感謝しています。」

<回答の分析結果は表2の通り>

- ・21名から回答をもらう。質問は5つの項目に別れていた、全部で18個の問い。

表2 「保護者等からの放課後等デイサービス業所評価の集計結果」( )内は%

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	合計
環境、体制整備 (①～③)	62 (98.4)	0 (0)	0 (0)	1 (1.6)	63 (100)
適切な支援の提供 (④～⑥)	54 (85.8)	4 (6.3)	1 (1.6)	4 (6.3)	63 (100)
保護者への説明等 (⑦～⑭)	159 (94.6)	5 (3.0)	0 (0)	4 (2.4)	168 (100)
非常時等の対応 (⑮～⑰)	29 (69.1)	3 (7.1)	0 (0)	10 (23.8)	42 (100)
満足度 (⑱～⑳)	41 (97.6)	1 (2.4)	0 (0)	0 (0)	42 (100)
合計	345 (91.3)	13 (3.4)	1 (0.3)	19 (5.0)	378 (100)

- ・18個中9個の質問に対して、全員から「はい」の回答があった。

### \*各項目について細かくみる\*

<環境、体制整備>

- ・「バリアフリー化等」に関する質問に対して「わからない」の回答が1つあった。

<適切な支援の提供>

- ・「子どものニーズや課題等が客観的に分析されたうえで計画が作成されている」といった趣旨の問いに対して、「わからない」の回答が1つあった。
- ・放課後児童クラブなどとの交流や障害のない子と活動する機会があるか」といった趣旨の問いに対して、「どちらともいえない」が4、「いいえ」が1、「わからない」が3であった。

<保護者への説明等>

- ・「父母の会の活動の支援、保護者同士の連携が支援されているか」といった趣旨の問いに対して、「どちらともいえない」という回答が2つあった。
- ・「保護者からの苦情への対応」についての問いに対して、「どちらともいえない」という回答が2つ、「わからない」の回答が3つあった。
- ・「個人情報に十分注意しているか」という問いに対して、「どちらともいえない」「わからない」の回答がそれぞれ1つずつあった。

<非常時等の対応>

- ・「緊急マニュアル、防犯マニュアル等の策定や保護者への周知」に関する問いに対しては「どちらともいえない」という回答が1つ、「わからない」の回答が4つあった。

<満足度>

- ・「子どもは通所を楽しみにしているか」の問いに対して「どちらともいえない」の回答が1つあった。

<両事業についての改善点>

保護者からの回答は、児童発達支援も放課後等デイサービスも「はい」の回答がかなり高率でした。「はい」が高いほど求められていることが達成されている割合が高いということになります。

とりわけ「満足度」についての問いには、どちらも「はい」がとても高い割合となっています。事業に関わる者として、たいへん有難く思います。と同時に、みなさんの信頼に応えるよう、より一層の努力・工夫を重ねていきたいと思えます。

その一方で、事業者として気をつけていかなければならない点がありました。

1点目は、ひまわり教室の活動の内容が十分に保護者に伝えられていない、ということです。適切な支援計画に

添った活動がなされていることや活動プログラムが固定化しないように工夫していることなどについて、きちんとした説明ができていない側面があることが、今回のアンケートを通してわかりました。

2点目は、「非常時等の対応」について保護者にきちんとした説明がなされていない、ということです。これは、ひまわり教室として、この面について十分な取組みがなされていないことも大きな要因と思われます。

いずれもひまわり教室から保護者のみなさんへの情報伝達が不十分であることを示しているものなので、職員内でこの点を確認し合い、早急に改善に取り組みます。

### 3. 職員（児童発達支援）事業所自己評価結果公表

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 7人 回収数 7人 割合100%

#### 環境・体制整備

<p>①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である はい7 いいえ0 工夫している点 ・主に遊びに使う部屋と食事をする部屋は分けて使っています。玄関から廊下は大きめに作ってあるので、子どもたちはよく走り回っています。ベランダから外の広場や屋上へ出て遊ぶこともあります。</p>
<p>② 職員の配置数は適切である はい7 いいえ0 工夫している点 ・20人定員なので4人の職員の配置に加え、日によっては、さらに3人～5人の配置をしています。医療行為の必要な子に対しても、医療行為が出来るように8人の職員が研修を受けています。</p>
<p>③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている はい6 いいえ1 工夫している点 ・建物自体がバリアフリー化されています。玄関に段差がありません。子どもによってはそれがわかりにくく、靴のまま入って行ったり、靴を履く時に段が必要だったりする子もいます。また、水道も子どもたちが自分で蛇口をひねって水を出せるように自動にはしていません。玄関の扉も手動です。すべてがバリアフリーでは、子どもたちのできることを奪ってしまうこともあるので、気をつけています。 ・大人の洋式トイレの入り口が狭いので、車椅子が入りにくいので手伝って入っています。</p>
<p>④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている はい7 いいえ0 工夫している点 ・毎日拭き掃除をし、きれいにするようにしています。子どもたちが小さいごみなどを口に入れてしまわないように、と思っています。心地よく過ごせる場所にしようと日々思っています。 ・本棚を、子どもたちが取り出しやすいように下の段にしてあります。ママゴトやボールや積木も子どもたちが自分で取り出しやすいようになっています。</p>

#### 業務改善

<p>⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している はい6 いいえ1 工夫している点 ・職員ミーティングを毎週1回行い、子どもの状態や課題等の確認、業務の確認等、いろいろな確認を行っています。改善すべきところは職員全員で取り組んでいます。</p>
<p>⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている はい7 いいえ0</p>



工夫している点	・事業所の評価は、昨年度から行っています。評価の実施の以前から、保護者からの指摘や要望が出た時には、速やかに改善を行ってきました。 ・評価していただくことで、さらに皆さんからの声を聴くことができ、有難いと思っています。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	はい4　　いいえ3
工夫している点	・昨年から、放課後等デイサービスの評価を公表しました。今年度は児童発達支援も放課後デイサービスも、自己評価も行い、ホームページに載せます。
改善目標	・昨年度の評価の公表を、職員に周知しきれずにいて、公表を知らない職員もいたので、今回の結果になったようです。これからは周知していきます。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	はい0　　いいえ7
改善目標	・これまではしていませんでした。これからは行っていきます。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	はい7　　いいえ0
工夫している点	・研修の機会は作っています。実践検討会を毎年2回行っています。また、外部での研修の機会があれば参加しています。

#### 適切な支援の提供

⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	はい7　　いいえ0
工夫している点	・入室時に行う標準発達検査の結果と、保護者からの聞き取りとを参考に、まず簡単なねらいを立てて取り組みます。子どもたち全員について、日々の記録をつけていて、2か月に1回個別支援計画を作成しています。これまでのねらい（課題）がどの程度達成されたか、これからの課題をどうしていくかを、職員で話し合っています。その記録をもとにお母さんと話し合い、確認合っています。
⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい6　　いいえ1
工夫している点	・一般的な発達検査を入室時に行っています。保護者の方からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用しています。
⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	はい4　　いいえ3
工夫している点	・これまで行ってきた教室での支援の多くは、ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択した具体的な支援内容と、変わらない内容です。
改善目標	・足りない部分もあるとは思いますが、それは今後の課題とします。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている	はい7　　いいえ0
工夫している点	・2か月に1回支援計画を作っています。そこで立てたねらい（課題）に合わせ支援しています。「日常生活」「体」「手指」「人間関係」「興味関心」「理解」「情動」等に分けて最近の様子をまとめ、各々ねらいを設定し、それに沿って支援しています。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っている	はい7　　いいえ0

工夫している点	・活動プログラムの立案をチームで行っています。
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	
はい6	いいえ1
工夫している点	・翌週の設定遊びの内容を週末に決めています。主に体を使った遊びと、主に手指を使った遊びを交互に織り交ぜて設定しています。天気の良い日には公園や山へ散歩に出ます。設定遊びの内容も、参加する子どもに合わせていろいろと用意をしています。
改善目標	・遊びの内容を子どもたちの興味を引く、より参加のしやすいものにしていくために、これからも工夫を重ねます。
⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	
はい7	いいえ0
工夫している点	・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ設定遊びをしていますし、午後の自由遊びもそうになっています。1日を通し、気をつけています。その1日1日を重ねていきながら、課題をクリアしていきます。クリアすることが難しい時は、ねらいを立てなおします。2か月に1回見直しを行っていますが、必要に応じて随時見直すことも行っています。
⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	
はい7	いいえ0
工夫している点	・毎朝、職員で1日の打ち合わせを行っています。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	
はい5	いいえ2
工夫している点	・決まった時間は設定していませんが、何かあった場合は職員で話し合っています。また、保育活動終了後には、必ず明日の迎の確認等を行っています。出勤時間、退勤時間がそれぞれなので、全員参加はできません。確認した送迎や他の確認事項はメモが貼り出されています。必要な確認は電話連絡が入ります。その時にいる職員で、気になった点など話が出て、共有しています。
⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	
はい7	いいえ0
工夫している点	・子どもたち全員について、日々の記録をつけていて、2か月に1回個別支援計画を作成しています。これまでのねらい（課題）がどの程度達成されたか、これからの課題をどうしていくかを、職員で話し合いをしています。その記録をもとにお母さんと話し合い、確認し合っています。
⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	
はい7	いいえ0
工夫している点	・児童発達支援計画を2か月に1回たてています。これが定期的に行うモニタリングとなっています。見直しの必要がある場合は、随時職員の話合いなどで確認し、職員全員で取り組んでいます。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

②障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	
はい7	いいえ0
工夫している点	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しています。
②母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	
はい2	いいえ5

工夫している点	・定期的には行っていません。通っている子にとって連携が必要な場合は、病院へ行ったり、行政とも連携をとったりして支援を行っています。
⑳ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている はい6 いいえ1	工夫している点
	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、医療との連携は必須です。また、通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。必要に応じて、園等を訪問することもあります。
㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている はい7 いいえ0	工夫している点
	・連絡体制を整えています。医療行為の必要な子ども一人について、お母さんからの聞き取りも行い、細かく書類を作成しています。医療行為を行うための説明書などにも確認印や主治医から指示書もいただいています。医療行為の研修もさせていただき、主治医だけでなく、嘱託医とも連携をしています。
㉒ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている はい6 いいえ1	工夫している点
	・通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。必要に応じて園等を訪問しています。
㉓ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている はい7 いいえ0	工夫している点
	・通っている子が次に行く学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。必要に応じて学校を訪問しています。 ・相談支援の担当者会議にて共有することもあります。
㉔ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている はい0 いいえ7	工夫している点
	・定期的にはしていません。相談支援の担当者会議にて共有することがあります。
㉕ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある はい7 いいえ0	工夫している点
	・ひまわり教室の近くの幼稚園と交流保育をしています。幼稚園の子どもたちも教室の方に遊びに来ることもあります。 ・公園や児童館へ遊びに行ったり、バスに乗ったり、ショッピングセンターへ行ったりと、障害のない子どもと触れ合う機会を作っています。
㉖ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している はい1 いいえ6	工夫している点
	・参加していません。金沢市の場合、自立支援協議会に参加する機会がありません。
㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている はい7 いいえ0	工夫している点
	・送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日に合ったことを確認し合ったりしています。また、月に1, 2回個人面談があり、話を聴いています。 ・月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っています。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあった場合はいつでも話を聴く用意をしています。</li> <li>・個別支援計画について2か月に1回課題について確認をしています。子どもの発達の状況や課題について共通理解を持てていると思います。</li> </ul>
<p>③保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている</p> <p>はい5      いいえ2</p> <p>工夫している点 ・⑩の設問の答えと同じです。家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援だけでなく、家族への支援も子どもたちの支援同様に大切にしています。</p>

#### 保護者への説明責任等

<p>③運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている</p> <p>はい7      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・入室時に行っています。多くの事柄について説明しています。</p>
<p>③児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている</p> <p>はい6      いいえ1</p> <p>工夫している点 ・子どもたち全員について、2か月に1回個別支援計画を作成しています。ねらい（課題）がどの程度達成されたか、これからの課題をどうしていくかを、職員で話し合っています。その記録をもとにお母さんと話し合い、確認し合っています。</p>
<p>④定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている</p> <p>はい7      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日にあったことを確認し合ったりしています。また、月に1, 2回個人面談があり、子育ての悩み等を聴いたり、必要な助言と支援を行ったりしています。何かあった場合はいつでも話を聴く用意をしていますし、実際相談に来ています。</p> <p>・月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っています。そこでも子育ての悩み等が出るので、必要な助言と支援を行っています。</p>
<p>⑤父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p> <p>はい7      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・月に1回（主に）お母さんたちの参加する学習会を行っています。児童発達支援と、放課後等デイサービスを利用しているお母さんたちにも連絡をして、参加できる人たちで集まっていますが、お母さんどうしの連携はできていると思います。</p> <p>・また、年に数回、行事もあります。お父さんも参加しやすいように日曜日に行っています。</p> <p>・年に1回秋に、お父さんの会を行っています。特に就学や子育てについて、先輩のお父さんや学校の先生に来ていただいて話を聴いています。</p>
<p>⑥子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している</p> <p>はい7      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・何かあった場合はいつでも話を聴く用意をしていますし、実際相談があります。</p> <p>・児童発達支援を利用しているお母さんとは個人面接を月に1, 2回行っています。放課後デイサービスを利用しているお母さんとは、希望がある場合に定期的に面接をしています。</p>
<p>⑦定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し</p>

<p>ている はい7    いいえ0</p> <p>工夫している点 ・2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行しています。 ・児童発達支援を利用している家族に、「でこぼこ通信」を年に12回以上発行しています。子どもたちの様子を中心に、活動概要や行事予定、連絡体制等を発信しています。</p>
<p>③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している はい6    いいえ1</p> <p>工夫している点 ・十分に注意しています。ですが、失敗があることも否めません。その後のことは迅速に対応しているつもりです。</p> <p>改善の目標 ・個人情報の取扱いに十分注意していきます。</p>
<p>③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている はい7    いいえ0</p> <p>工夫している点 ・これまで書いてきたことにあるように、障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています。 ・外国の子が通った時は、英語で意思の疎通をし、伝達するようにもしました。放課後等デイサービスを利用している、手話が必要な子がいるので、なるべく手話で伝えるようにしたいと思っています。視覚障害の子も利用しているので、配慮しています。</p>
<p>④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている はい2    いいえ5</p> <p>工夫している点 ・地域住民を招待することはありませんが、実習、見学の希望には随時応えています。オープンな施設運営を心がけています。 ・今年度、市民にむけて、インクルーシブ保育の講演会を行います。</p>

#### 非常時等の対応

<p>④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している はい4    いいえ3</p> <p>&lt;対応中です&gt;</p> <p>*緊急時対応マニュアルは、緊急対応の表を作成し、子ども一人ひとり医療ノートと共に、毎日持ってくる袋に入れて置くようにしていますが、まだ作成されていない人もいますので早急に作成します。</p> <p>*防災マニュアル、感染症対応マニュアルは、策定してあったものを全員分印刷して配っているところです。</p> <p>*避難訓練も、子どもたちが驚かないように、混乱のないように、やっています。</p> <p>*非常用電源はまだ設置できていませんが、車用の電源は大きな容量のものを用意してあります。</p> <p>*避難訓練はマニュアルに合わせて1回行いました。</p> <p>*防犯マニュアルは策定していきます。</p>
<p>④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている はい1    いいえ6</p> <p>工夫している点 ・避難訓練は子どもたちとお母さんたちとで、マニュアルに合わせて1回行いました。 ・毎年、同じ建物を利用している事業所、法人と共に、2回避難訓練をしています。 ・お母さんたちとの学習会で、幼児・児童用の人形を使用しての、救急救命法の研修を行い、AEDの練習もしました。</p>
<p>④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している</p>

<p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫している点 ・子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等書いていただいています。また、予防接種の書類のコピー、何かあった時のために、緊急時の対応表等も作成し、毎日持って来る鞆に、常に入れておくようにしています。</p>
<p>④④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている</p> <p>はい5    いいえ2</p> <p>工夫している点 ・現在はいいませんが、食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしていきます。</p>
<p>④⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している</p> <p>はい4    いいえ3</p> <p>工夫している点 ・ヒヤリハット事例集は作成していません。日々に記録しているケースに書いています。ヒヤリハットの案件があった場合は職員で集まって、なぜ起こったか、これからの対処法など確認しています。また、ケースは2カ月に1回個別支援計画を作成しているのので、職員間での共有はできています。</p> <p>改善目標 ・ヒヤリハットが起こった場合、事例集に書き込んで、事業所内で共有するようにします。</p>
<p>④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている</p> <p>はい7    いいえ0</p> <p>工夫している点 ・虐待を防止するため、職員の研修機会を確保しています。毎年、県と市で行われるので、それぞれ参加しています。職員ミーティングで報告しています。</p>
<p>④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p> <p>はい1    いいえ6</p> <p>工夫している点 ・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に話し合っているはいませんが、虐待を防止するため職員の研修機会を確保しているのので、その報告の時に話は出ます。</p> <p>改善目標 ・教室での拘束は、座位保持椅子のベルトになりますが、座位保持椅子や車椅子を使用している保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で座らせるようにし、児童発達支援計画に記載をしようと思います。</p>

<回答の分析結果は表3の通り>

表3 児童発達支援に関する質問の回答 ( )内はパーセント 7人が答えた。

	はい	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～④)	27 (96.2)	1 (3.8)	28 (100)
業務改善 (⑤～⑨)	24 (68.6)	11 (31.4)	35 (100)
適切な支援の提供 (⑩～⑳)	70 (90.1)	7 (9.9)	77 (100)
関係機関や保護者との連携 (㉑～㉓)	55 (71.4)	22 (28.6)	77 (100)
保護者への説明責任等 (㉔～㉖)	56 (88.9)	7 (11.1)	63 (100)
非常時等の対応 (㉗～㉙)	29 (59.2)	20 (40.8)	49 (100)
合計	261 (79.3)	68 (20.7)	329 (100)

- ・47個の質問について、全員が「はい」と答えた質問は25。全員が「いいえ」と答えた質問は2。評価が別れた質問(4.3か3.4)は4。
- ・全体として「はい」が多かった質問は7。全体の傾向として「いいえ」が多かった質問は3。どちらかと言えば「はい」が多かった質問は3。どちらかと言えば「いいえ」が多かった質問は3。

○各項目について細かくみる

＜環境、体制整備＞

- ・これに関しては自己評価が高い。

＜業務改善＞

- ・業務改善への職員の参加や保護者の意向等を受けての業務改善努力、研修実施については高い評価。
- ・一方で、第三者による外部評価については、全員「いいえ」。
- ・自己評価や改善点を会報等で公開しているかについては評価が分かれた。

＜適切な支援の提供＞

- ・11個の質問中9個において「はい」が6か7であった。
- ・「ガイドライン中の子ども支援に示された内容にそって具体的な支援内容が設定されているか」については評価が分かれた。

＜関係機関や保護者との連携＞

- ・11個の質問中7個において「はい」が6か7であった。
- ・専門機関や事業所等との連携に関する項目(2つ)については、「いいえ」が6か7であった。
- ・家族支援については「いいえ」が2つあった。

＜保護者への説明責任等＞

- ・7個の質問中8個において「はい」が6か7であった。
- ・「行事等に地域住民を招待する等の地域に開かれた運営を行っているか」という趣旨の問いには「いいえ」が5であった。

＜非常時等の対応＞

- ・7個の質問中2個において「はい」が7であった。
- ・「緊急時対応マニュアルの策定や訓練の実施」「ヒヤリハットへの対応」についての問いでは評価が分かれた。
- ・「災害時の避難訓練」や「身体拘束に関する決定等」に関する問いには、「いいえ」の回答が多かった。

#### 4. 職員(放課後等デイサービス)事業所自己評価結果公表

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員 6人 回収数 6人 割合100%

##### 環境・体制整備

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか はい6    どちらともいえない0    いいえ0 工夫している点 ・児童発達支援と同じ施設を使用しています。 ・主に遊びに使う部屋と食事をする部屋は分けて使っています。玄関から廊下は大きめに作ってあるので、子どもたちはよく走り回っています。ベランダから外の広場や屋上へ出て遊ぶこともあります。
②職員の配置数は適切であるか はい6    どちらともいえない0    いいえ0 工夫している点 ・放課後等デイサービスの利用者は、平日はだいたい3~5名です。子どもたちに合わせ、職員は配置されています。

<p>③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか</p> <p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・建物自体がバリアフリー化されています。玄関に段差がありません。子どもによってはそれがわかりにくく、靴のまま入って行ったり、靴を履く時に段が必要だったりする子もいます。また、水道も子どもたちが自分で蛇口をひねって水を出せるように自動にはしていません。玄関の扉も手動です。すべてがバリアフリーでは、子どもたちのできることを奪ってしまうこともあるので、気をつけています。</p> <p>・大人の洋式トイレの入り口が狭いので、車椅子が入りにくいので手伝って入っています。</p>
--

#### 業務改善

<p>④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか</p> <p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・職員ミーティングを毎週1回行い、子どもの確認、業務の確認等、いろいろな確認を行っています。改善すべきところは職員全員で取り組んでいます。</p>
<p>⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか</p> <p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・昨年、放課後等デイサービスの評価を公表しました。「非常時の確認」の部分で改善が必要だったので、お母さんたちと一緒に救急救命研修と避難訓練をしました。</p>
<p>⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p> <p>はい2      どちらともいえない2      いいえ2</p> <p>工夫している点 ・昨年度分は公開しました。今年度分も公開します。今年度は「ひまわり教室だより」にも掲載します。</p>
<p>⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p> <p>はい0      どちらともいえない1      いいえ5</p> <p>改善目標 ・これから行っていきます。</p>
<p>⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p> <p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・研修の機会は作っています。実践検討会を毎年2回行っています。また、各研修の機会があれば参加しています。</p>

#### 適切な支援の提供

<p>⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・半年に1回、通ってきた日の様子を見たり、毎回している記録を読んだり、家からの聞き取り（家での様子や、主に通っている学校等の様子、希望等）を参考にしたりして、放課後等デイサービス計画を作成しています。</p>
<p>⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p> <p>はい4      どちらともいえない2      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・標準発達検査を入室時に行っています。保護者の方からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用しています。</p>
<p>⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・基本的な課題はありますが、放課後デイサービスの担当になった職員たちとその日に通ってくる子どもたちとで相談して決めています。</p> <p>・土曜日は、児童発達支援の子と放課後等デイサービスの子とは合同で過ごしています。</p>



<p>すが、土曜日の立案は職員みんなで決めています。</p>
<p>⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  <b>はい5      どちらともいえない0      いいえ1</b>  <b>工夫している点</b> ・活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。平日の放課後に利用するメンバーの顔触れはどの日も違うことや、教室に来る機会が少ない(週1の子もいる)ことや、時間が短いことなどから、同じようなことを本人が望んだり、体を使って遊ぶことが多くなったりしています。</p>
<p>⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか  <b>はい2      どちらともいえない4      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・平日は利用している子どもたちに合わせて活動しています。土曜日は、児童発達支援の子も交じっての集団活動（集団で遊びつつ、個別対応しています）です。長期休暇も土曜日同様ですが、土曜日よりは児童発達支援の子が多くなります。一人ひとりの課題を確認しながら、支援しています。</p>
<p>⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか  <b>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・⑬と同様です。</p>
<p>⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか  <b>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・送迎後、職員が顔を合わせ、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しています。</p>
<p>⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか  <b>はい4      どちらともいえない0      いいえ2</b>  <b>工夫している点</b> ・放課後等デイサービスの支援終了時は職員が揃っていないため、支援の振り返りはできません。別の日に気づいた点等の確認をしています。</p>
<p>⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか  <b>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・毎日の記録を取っています。その記録と家からの聞き取りをもとに、おおむね半年に1回の支援計画を作成しています。それをもとに家族に人と話をし、確認し合っています。</p>
<p>⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか  <b>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・⑰にも書いたようにしているとともに、見直しの必要な時には支援計画の見直しをしています。</p>
<p>⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか  <b>はい3      どちらともいえない3      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・行っています。</p>

**関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携**

<p>⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  <b>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</b>  <b>工夫している点</b> ・当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しています。</p>
<p>㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか</p>

<p>はい3      どちらともいえない3      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・学校によりできている所とできていない所があります。家との連絡にて調整ができています。担当者会議にて確認をしている所もあります。</p>
<p>②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・連絡体制を整えています。医療行為の必要な子ども一人について、お母さんからの聞き取りも行い、細かく書類を作成しています。医療行為を行うための説明書などにも確認印や主治医から指示書もいただいています。医療行為の研修もさせていただき、主治医だけでなく、嘱託医とも連携をしています。</p>
<p>③就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか</p> <p>はい0      どちらともいえない5      いいえ1</p> <p>工夫している点 ・今のところ、以前に利用していた所のことは、お母さんを通して情報を得ています。また、ひまわり教室の児童発達支援を利用していた子も多いです。</p>
<p>④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか</p> <p>はい3      どちらともいえない3      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・障害福祉サービス事業所へ移行した子はまだ数人ですが、その子については、教室でどのように過ごしていたかを伝えています。</p>
<p>⑤児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</p> <p>はい0      どちらともいえない0      いいえ6</p> <p>工夫している点 ・受けていません。必要があれば、その時に考えていきます。</p>
<p>⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか</p> <p>はい1      どちらともいえない5      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・放課後児童クラブとの交流はありません。児童館には出かけています。公園や、ショッピングセンターなどに出かけ、他の子どもたちと一緒に遊ぶ機会を作っています。</p>
<p>⑦（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか</p> <p>はい0      どちらともいえない0      いいえ6</p> <p>工夫している点 ・参加していません。金沢市の場合、協議会への参加が困難です。</p>
<p>⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日に合ったことを確認し合ったりしています。また、希望のある場合、個人面談で話を聴いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っています。</li> <li>・何かあった場合はいつでも話を聴く用意をしています。</li> <li>・個別支援計画について半月に1回課題について確認をしています。子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていると思います。</li> </ul>
<p>⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか</p> <p>はい4      どちらともいえない0      いいえ2</p> <p>工夫している点 ・児童発達支援から放課後等デイサービスに移行した人もいるので、引き続き家族支援を行っています。新しく放課後等デイサービスから利用を始めた人にも、心掛けています。希望する場合、個人面談で話を聴き、その過程で支援しています。</p>

保護者への説明責任等

<p>⑩運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか</p>
---

<p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・利用を開始する際に説明をしています。</p>
<p>③①保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしたりしています。また、希望のある場合、個人面談で話を聴いています。何かあった場合はいつでも話を聴く用意をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っています。その時に子育ての悩み等が出されることもあります。</li> <li>・個別支援計画について確認をしています。</li> </ul>
<p>③②父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・父母の会の活動があります。年に1回、父親中心の学習会を開いています。また、年間の3～4回行事を行っています。お父さんたちにも参加していただけるように日曜日に開催するようにもしています。家族同士の交わりのいい機会になっています。</p>
<p>③③子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・運営規定や、重要事項説明書に書いてありますので、利用開始時に説明をしていますし、運営規定は見える所に貼り出してあります。また、法人の方でも、第三者委員の名前を貼り出してあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあった場合はいつでも話を聴く用意をしていますし、実際相談に来ています。</li> <li>・放課後デイサービスを利用しているお母さん方とは、希望がある場合に定期的に面接をしています。保護者のみなさんとは、送迎時や、連絡帳のやり取り等で連絡合っています。こうして欲しいという希望のある場合には、すぐに対応しています。</li> </ul>
<p>③④定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p> <p>はい3      どちらともいえない1      いいえ2</p> <p>工夫している点 ・放課後等デイサービス子どもたちには日常的に会報は出していませんが、学習会のお知らせを出したり、毎月の放課後等デイサービスの利用希望を聞いたり利用する日の送迎の時間確認等をする時に連絡事項を発信したりしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり教室全体で、2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行しています。活動概要、行事予定・報告、その他の情報発信等をしています。</li> </ul>
<p>③⑤個人情報に十分注意しているか</p> <p>はい6      どちらともいえない0      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・情報の管理には注意しています。</p>
<p>③⑥障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p> <p>はい5      どちらともいえない1      いいえ0</p> <p>工夫している点 ・障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の子が通った時は、英語で意思の疎通を図るようにもしました。放課後等デイサービスを利用している、手話が必要な子がいるので、なるべく手話で伝えるようにしたいと思っています。視覚障害の子も利用しているので、配慮しています。</li> </ul>
<p>③⑦事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか</p> <p>はい1      どちらともいえない2      いいえ3</p> <p>工夫している点 ・地域住民を招待することはありませんが、実習、見学の希望には随時応えています。</p>

す。オープンな施設運営を心がけています。  
 ・今年度、市民にむけて、インクルーシブ保育の講演会を行います。

非常時等の対応

<p>⑳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか        はい2      どちらともいえない4      いいえ0        工夫している点 ・改善目標        &lt;対応中です&gt;        ＊緊急時対応マニュアルは、緊急対応の表を作成し、子ども一人ひとり医療ノートと共に、毎日持ってくる袋に入れて置くようにしていますが、まだ作成されていない人もいたので早急に作成します。        ＊防災マニュアル、感染症対応マニュアルは、策定してあったものを全員分印刷して配っているところです。        ＊避難訓練も、子どもたちが驚かないように、混乱のないように、やっています。        ＊非常用電源はまだ設置できていませんが、車用の電源は大きな容量のものを用意してあります。        ＊避難訓練はマニュアルに合わせて1回行いました。        ＊防犯マニュアルは策定していきます。</p>
<p>㉑非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか        はい0      どちらともいえない2      いいえ4        工夫している点 ・避難訓練は子どもとお母さんたちと一緒に、マニュアルに合わせて1回行いました。        ・毎年、同じ建物を利用している事業所、法人と共に、2回避難訓練をしています。        ・お母さんたちとの学習会にて、幼児・児童用の人形を使用しての、救急救命法の研修を行い、AEDの練習もしました。</p>
<p>㉒虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか        はい6      どちらともいえない0      いいえ0        工夫している点 ・虐待を防止するため、職員の研修機会を確保しています。毎年、県と市で行われるので、それぞれ参加しています。職員ミーティングで報告しています。</p>
<p>㉓どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか        はい1      どちらともいえない1      いいえ4        工夫している点 ・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に話し合っておりませんが、虐待を防止するため職員の研修機会を確保しているので、その報告の時に話は出ます。        改善目標 ・教室での拘束は、座位保持椅子のベルトになりますが、座位保持椅子や車椅子を使用している子どもの保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で座らせるようにし、児童発達支援計画に記載をしたいと思います。</p>
<p>㉔食物アレルギーのある子どもについて、医師の示書に基づく対応がされているか        はい4      どちらともいえない2      いいえ0        工夫している点 ・現在はいいませんが、食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしていきます。</p>
<p>㉕ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか        はい1      どちらともいえない3      いいえ2        工夫している点 ・口頭で報告し、同じようなことが再度起こらないように努めている。</p>

<回答の分析結果は表4の通り>

表4 各放課後等デイサービスに関する自己評価の回答（6人分）（ ）内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～③)	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	18 (100)
業務改善 (④～⑧)	17 (56.7)	6 (20.0)	7 (23.3)	30 (100)
適切な支援の提供 (⑨～⑱)	53 (80.3)	10 (15.2)	3 (4.5)	66 (100)
関係機関や保護者との連携 (⑳～㉔)	29 (48.3)	16 (26.7)	15 (25.0)	60 (100)
保護者への説明責任等 (㉕～㉗)	39 (81.3)	4 (8.3)	5 (10.4)	48 (100)
非常時等の対応 (㉘～㉚)	14 (38.9)	12 (33.3)	10 (27.8)	36 (100)
合計	169 (65.5)	49 (19.0)	40 (15.5)	258 (100)

- ・43個の質問中、全員が「はい」と答えたのは15個。
- ・「はい」が0個だった質問が4個（うち3つは関係機関との連携）。

**\*項目ごとに細かくみていく\***

<環境、体制整備>

- ・3個の質問に対して、ほとんどが「はい」という回答。

<業務改善>

- ・「PDCAサイクルへの職員の参加」「保護者等の意向の反映」「研修」等についての質問に対して、おおむね「はい」の回答であった。
- ・「自己評価の結果を公表している」の質問については、評価が分かれた。
- ・「第三者による評価」に関しては「いいえ」が多数を占めた。

<適切な支援の提供>

- ・この項目に関しては、「はい」の回答が高い割合を占めた。
- ・ただ、「平日・休日等に応じて、細やかな設定をしているか」という趣旨の問いについては、「どちらともいえない」が4あった。残り2は「はい」。
- ・「ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか」については、「はい」と「どちらともいえない」で評価が分かれた(3, 3)。
- ・日ごとの支援の振り返りに関する質問については、「はい」が4、「いいえ」が2と評価が大きく分かれた。

<関係機関や保護者との連携>

- ・この項目に関しては、「はい」の回答が50%を下回った。「どちらともいえない」が26.7%「いいえ」が25%だった。
- ・「サービス担当者会議への参加」「医療的ケアを必要としている子の医師との連携」「保護者との連携」に関する質問については「はい」が100%だった。
- ・「専門機関からの助言等」「協議会への参加」に関する質問については、「いいえ」が100%だった。
- ・「子どもが通っていた所との情報共有等」「障害のない子との交流」に関する質問については、「どちらともいえない」が多数を占めた。
- ・「保護者への支援」に関する質問では「はい」が4、「いいえ」が2と大きく分かれた。

<保護者への説明責任等>

- ・この項目については「はい」の回答が高い割合を占めた(81.3%)。
- ・ただ、「地域に開かれた運営」に関する質問については、「どちらともいえない」が2、「いいえ」が3であった。
- ・「行事の案内等の情報発信」に関する質問については、「はい」が3、「どちらともいえない」が2、「いいえ」が1と評価が分かれた。

<非常時等の対応>

- ・この項目については「はい」の回答率が38.9%と低かった。「どちらともいえない」が33.3%、「いいえ」が25%であった。
- ・「虐待防止に関する研修等」に関する質問については、「はい」が100%だった。
- ・「定期的な避難訓練」「身体拘束に関する説明や記載」に関する質問については、「いいえ」の回答が4であった。
- ・「ヒヤリハット事例の共有」に関しては、ばらつきがみられた（「はい」1「どちらともいえない」3「いいえ」2）。

#### <両事業についての改善点>

全体的傾向として言えることの1点目は、「環境、体制整備」の項目に関しての自己評価は高いということです。「適切な支援の提供」や「保護者への説明責任等」においてもかなり高い自己評価となっています。これらの点については保護者からの回答とも一致した傾向がみられます。ただ、3つの項目のうち、あとの2つの項目については児童発達支援に対して放課後等デイサービスの自己評価は低くなっており、このあたりに1つの課題があると考えています。

2点目は、「非常時等の対応」に関する自己評価がたいへん低いということです。特に放課後等デイサービスにおいては「はい」が40%を切っています。保護者からの回答でもこの項目についての評価が低かったのですが、その理由として、職員の中で「非常時等の対応」について十分な確認がなされていないことが考えられます。この点については、昨年度の結果を受け、7月の学習会の時間に、幼児用に特化した心肺蘇生法の講習ならびに、お母さん方と共に避難訓練を行いました。その様子を通信に載せお知らせもしましたが、放課後等デイサービスにおいては全員には周知できていませんでしたので、防災計画と感染症マニュアルを配布しお話をしているところです。今後は、回数を増やす予定をしていますし、避難訓練のやり方も災害の種類に応じて行うことも考えています。「自己評価や改善点を公開しているか」との問いにも低い評価の結果がでましたが、昨年度から行っています。今後は1年に1回行っていきます。

3点目は、「業務改善」について職員たちは不十分だと考えているということです。「業務改善」の項目の中に「外部の第三者の評価」を受けているかを問う質問がありましたが、今のところはしていません。これは「ぜひしたい」と考えています。

4点目は、他の事業所や専門機関との連携が弱い、ということです。ひまわり教室では通室している子どもの家族の人たちとはかなり密な関係を作っていますが、他の事業所との交流や連携は弱い面があります。子どもの様子を見て、必要に応じて連絡を取り合っていますが、そう多くはありません。特に放課後等デイサービスを利用している子のなかにはいくつもの事業所を利用している子がいます。それらすべての事業所と連携を取るのには困難としても、もう少し密な連携ができないか考えてみたいと思います。

今回の公表も含め、よりオープンな運営に向けた努力をしていきたいと考えています。